
黒い赤

三太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒い赤

【Nコード】

N1796I

【作者名】

三太郎

【あらすじ】

普通に生きる人々に、なんの前触れもなく襲いかかる現実と言う恐怖…
身近に迫るHIVウィルスが、仕事を家庭を、そして人生を崩して行く…

黒い赤

「ポケットに手をつつ込んで、歩くんじゃないよ。」

下川課長の声で、僕は足を止めた。

いつ聞いても嫌な声だ…

僕にとっては、生理的に受け付けない声なんだろう。

「すみません、考え事をしていたもんで…」

そう答えると、いつものように、下川課長の毒舌をおびた小言が始まった。

「お前、何年ここにいるんだよ。お前がそんなんで、下がどう育つんだ。呆れるというか情けないわ…俺が現場にいた頃はよお……」

もつともだと言う表情をしながら聞く。

これが結構難しいのだが、慣れと経験から、僕は課長の小言をすり抜ける技術に長けていた。

「シッカリしてもらわんと困るよ!」

最後にいつものセリフを言うと、下川課長は100キロもあると思うわれる巨体を揺らしながら、事務所へと帰って行った。

僕（保坂弥太郎）が、都内板橋区にある金属工場に、勤め出して、もう10年になる。

金属業界では、1位2位を争う大工場だ。

その工場の、圧延部のリーダーが僕である。上から下から、毎日のように問題や改善命令を出され、板挟み状態の、一番割に合わない地位である。

先ほど、（工場内では、ポケットに手を入れて歩かない）と言う、決まりを忘れ、下川課長に叱責を受けたのも、本当に考え事をしていなかった。

悩みの種は、同じ部署の若い男、佐久間 ツヨシだ。ツヨシが3日も連続で会社を休んでいることが、ラインの生産能力を著しく下げ、結果、僕の責任能力を下げているのだ。

（あのバカ…一体何やってるんだ…）

眩きとは裏腹に、僕はツヨシが好きだった。バカツぷりが、あまりに自分の若い頃と似ているからだろうか…

給料を一週間でパチンコに使ったり、キャバクラ通いで借金を作ったり…本当のダメ男…

だからツヨシには、しっかりと仕事を覚えてもらい、一人前の男になってほしいと願ってた。

僕のように…は、言い過ぎだが…

とにかく、ツヨシに電話を掛ける事だ。状況を把握しないと、先へは進まない。実際、電話に出るか出ないかは分からないが、僕はツヨシに電話を掛けた。

呼び出し音が鳴る。

…出る気配がなさそうだ。

十数回の呼び出し音を聞いて、諦めかけた時、電話口にツヨシが出た。

声を聞いただけで、ツヨシがどれだけ弱っているかわかった。

いつもの澆刺とした声ではない。

弱々しく、今にも死んでしまいそうな声だった。

僕は、できる限り明るい声で話した。

「おーツヨシ！どうした？風邪か？連絡くらいしろよー」

ツヨシから返事は帰ってこない…

電話口から、グス…ウエ…と嗚咽だけが聞こえてくるのだった。

僕は自分の経験上、頭に浮かんだのは一つだった。

ズバリ失恋！

これしかないだろう。それとなくツヨシに聞く、

「なあ、女か？まあなあ、今はつらいだろうが無断で仕事を休んじやよ…一回、酒でも飲んでゆっくり話するべ。」

ツヨシは泣き出した。僕は、自分の予感的中したものとばかりおもったのだが、それは全くの検討外れだった…

ツヨシは、泣きながら途切れ途切れに話出した。

「もう…俺ダメっす…終わった…終わった…終わった…俺…多分エイズだ…エイズなんだ…あああ終わった…」

エイズ？HIVウィルスの事か？

僕は、ツヨシの言っている事が、よく理解できぬまま、とにかくただ事ではないと判断し、話を聞く為、今日の仕事が終わったら、ツヨシの家を訪ねる事を約束した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1796i/>

黒い赤

2010年12月16日02時30分発行